

2002年8月19日

大阪府政策形成研修

放送大学 林 敏彦

政策形成の重要性

< 政策分析パラダイム >

パラダイム	主たる目的	顧客	スタイル	時間的制約	よくある弱点
政策科学などの学問的分析	理論の構築	真理	理論に対する厳密な検証手続	ほとんどない	意思決定者に直接役立たない
政策研究	政策効果の予測	政府・政治家	政策関連性の高い問題への厳密な検証手続	問題によっては制約あり	研究成果を政府行動に翻訳するのが難しい
ビジョン政策	望ましい社会状態の実現	担当者の定義による「公共の利益」	ゴールや目的の設定	長期的課題のためほとんど制約はない	政治的実現可能性を無視した希望的観測
行政計画	決定された課題の効率的実行	行政責任	管制的・法的	ルーティン化された手続	所管事項からはずれた解決策を無視する
ジャーナリズム	社会問題への関心喚起	一般市民	記述的	トピックスを追う必要性	分析的深さに欠ける
政策分析	社会問題解決の代替手段の吟味	政策意思決定者	蓄積された研究と政策効果の予測を統合	期限付きの場合が多い	意思決定者の関心と時間的制約によって視野が狭くなる

< 政策分析の手順 >

1. 解決すべき問題の特定化
2. 政策目標の明確化
3. 政策手段の開発
4. 各政策手段のメリットとデメリットの推定
5. 政策手段の評価
6. 明確な基準に基づいた最適政策の提言